

InoculateIT™

Complete Virus Protection™

Workgroup Edition Advanced Edition

InoculateITは、優れたウイルス検知とリアルタイム駆除を実現する、アンチウイルスソリューションです。ウイルスシグネチャ自動更新機能や容易な管理により、企業資産やネットワークをウイルス被害から守ります。小規模な環境から大規模で heterogeneous な環境にいたる様々なIT企業のニーズに合わせて、InoculateITは、複数のEditionを提供しています。

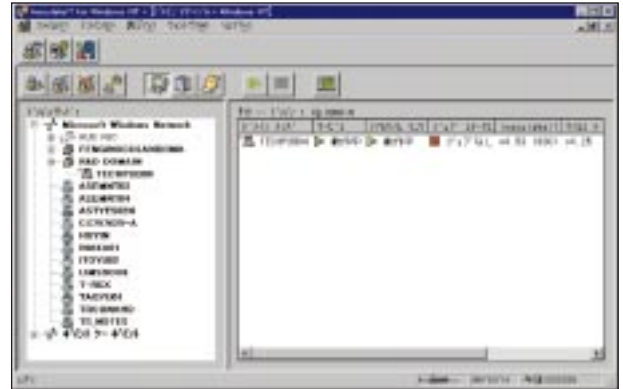
感染の危機に直面するネットワーク

今日、ほとんどの企業において、フロッピーディスクによるファイルの受け渡し、ファイルを添付した電子メールの送受信、インターネットによる情報へのアクセス、外部データベースの利用は、今やビジネスの世界では日常的になってきています。しかし、コンピュータウイルスが蔓延するほとんどの原因は、このような情報の共有によるものです。米国のICSA(International Computer Security Association)の調査によれば、コンピュータウイルスは何億ドルものコストと、生産性の低下による莫大な時間のロスをもたらしています。全体の90%を超える企業のコンピュータシステムにマクロ型ウイルスが常駐しており、ウイルスの検出、駆除、およびウイルスに起因する故障の修復には平均8千ドルもかかります。しかも、ウイルスを駆除できたコンピュータシステムの25%は30日以内に再度感染しています。ネットワークセキュリティポリシーを効果的に実現するためには、容易な管理、高度な機能そしてすべてのシステムを保護できるアンチウイルスソリューションが必要です。

環境に合わせたソリューションの提供

多くの企業ニーズに合わせて、InoculateITは、複数のEditionを提供しています。また、オプションやエージェントを利用すれば、さらにウイルスプロテクションを強化できます。InoculateITなら、ニーズに合わせて、最適なアンチウイルスソリューションを容易に選択できます。

InoculateIT Workgroup Editionは、中小規模の企業や大規模環境における部門向けに開発されています。Workgroup Editionは1台のWindows NTサーバとそれに接続するクライアントを保護します。InoculateIT Advanced Editionは、複数のサーバとワークステーションを有する中規模から大規模の企業に理想的なソリューションです。強力な一元管理機能により、大規模ネットワークをウイルスの攻撃から容易に保護することができます。Advanced Editionを使えば、1か所からすべてのサーバ、クライアント、およびアンチウイルスエージェントをリモートインストールできるため、大規模ネットワークへの導入も簡単です。



InoculateIT Advanced Editionの一元管理機能を利用すれば、ネットワーク全体を容易に保護できます。

優れたウイルス検知と駆除

InoculateITは、リアルタイムにウイルス検出 / 駆除することができ、すべてのサーバとクライアントを含むエンタープライズ全体にウイルスプロテクションを提供します。InoculateITの中核にある高性能のウイルススキャンエンジンは、高度の技術を駆使して、急速に広まるステルスウイルスやマクロウイルスなどあらゆる種類のウイルスを検出 / 駆除します。

自動インストールと自動更新

InoculateITはネットワーク管理者のニーズに対応し、サーバやネットワーク上のクライアントへの自動インストールや自動更新など、高度な多数の機能を備えています。新種ウイルスへ対抗するためには、新種のウイルス情報をもった、最新のウイルスシグネチャファイルが必要となります。ウイルスシグネチャファイルは、無料でインターネットを通じて自動的にサーバにダウンロードでき、InoculateIT サーバからネットワーク上のクライアントに配布されるため、すべてのエンドポイントでウイルス侵入から確実に保護し続けることができます。



Workgroup/Advanced Editionの特長

以下は、Inoculate/IT Workgroup EditionとAdvanced Editionの両方の特長です。

最新技術を結集したウイルス検知 Inoculate/ITは、ブートセクタ感染型、マスターブートセクタ感染型、メモリ常駐型、マクロ感染型、ステルス型、ポリモフィック型などの感染することが判明しているウイルスを、100%検出します。

リアルタイム駆除 Inoculate/ITのリアルタイムスキャンおよび自動駆除により、継続的な保護を実現します。

ヒューリスティクスエンジンを採用したウイルス検知

Inoculate/ITは、高度なルールベースの検出方法により、未知のマクロウイルスも、ネットワークに被害をもたらす前に検出します。

ウイルスシグネチャの更新 Inoculate/ITは、新しいウイルスの攻撃に備えて、無料で最新ウイルスシグネチャをインターネットから毎月自動的にダウンロードでき、それをInoculate/ITのサーバとクライアントに配布して、最新の保護を実現します。

マクロウイルスアナライザ 独自の技術により、Microsoft Officeのファイルに多い、急速に広がっているマクロウイルスの検出/駆除ができます。

ファイルウイルスウォール ウイルスに感染したファイルによって既存の未感染ファイルが上書きされ、ファイルサーバが感染することを防ぎます。

隔離機能 ウイルスに感染したファイルをネットワークで移動、コピー、または保存しようとしたユーザを自動的に隔離します。

ウイルス感染源の追跡 Inoculate/ITのイベントログにより、ウイルスイベントに関連するユーザを識別することができます。

ウイルススキャンログの集中化 検証済みファイル、検出されたウイルス、その対応処置など、あらゆるウイルスイベントが一元的に記録されるため、管理がシンプルになります。

負荷率の設定 Inoculate/ITが使用する処理時間をコントロールして、システムのパフォーマンスを管理できます。

ウイルス処理オプション 駆除、名称変更、移動、レポート、削除、消去など、ウイルス発見時の処理方法を選択することができます。

バックアップ機能との統合 コンピュータ・アソシエイツの

ARCserve®IT™との統合により、バックアップ時にバックアップのパフォーマンスを低下させないで、ファイルをスキャンしウイルスを検出することができます。

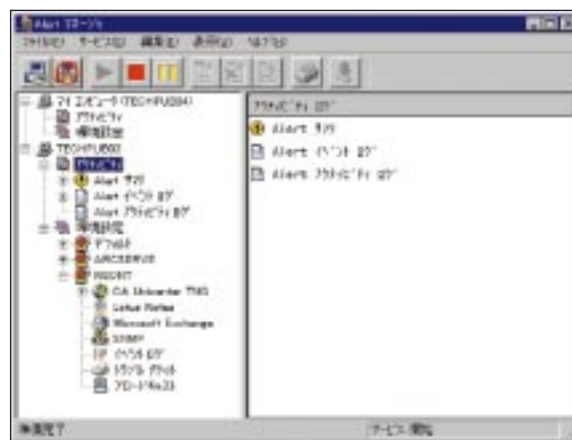
業界をリードする管理技術 Inoculate/ITは、今日最も求められている管理技術である、CAのUnicenter TNG®Framework™を基盤として構築されています。Inoculate/ITはFrameworkの強力なレポート、一元的な警告、およびイベント管理の技術、ビジネスプロセスビュー、およびリアルワールドインタフェースを利用して、無類のビジネスセキュリティを実現します。

Advanced Editionの特長

以下は、Inoculate/IT Advanced Editionの特長です。

無類の管理性 Inoculate/ITが保護するすべてのサーバ、ワークステーション、およびグループウェアシステムを、容易にグループ化して1台の中央コンソールから管理できるため、すべてのInoculate/ITマシンの参照、環境設定、およびスキャンが大幅に簡素化されます。

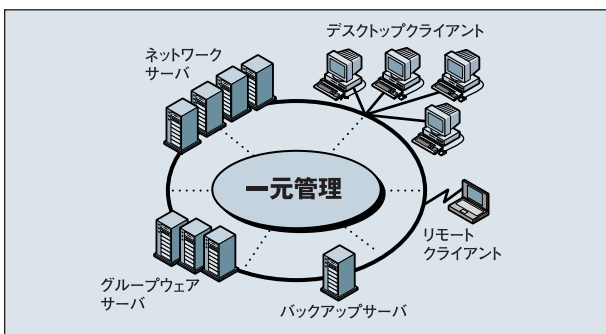
一元的なアラート Inoculate/ITのアラートマネージャが、環境内のすべてのサーバで検出したクリティカルなウイルスを管理者に知らせることができます。



リモートインストール 1台の中央サーバから、ネットワーク中のサーバとワークステーションにInoculate/ITをリモートインストールできます。

リモート管理とスキャン Inoculate/ITのサーバやワークステーションをリモートから環境設定し、スキャンできます。

プリコンフィグレーション Inoculate/ITは、事前に環境設定が定義できるので、複数のマシンにインストールが必要な大規模環境へ効率的に導入できます。



Inoculate/IT Advanced Editionは、クライアント、サーバ、およびグループウェアシステムを保護する、包括的なアンチウイルスソリューションです。

Inoculate/IT Client Agents このエージェントにより、接続しているWindows NTワークステーション、Windows 98/95、およびWindows 3.xのデスクトップにも優れたウイルスプロテクションを適用できます。最新のウイルスプロテクションを提供し続けるために、これらのエージェントはサーバから自動的に自身を更新し、フロッピーディスクやダウンロードしたファイルや文書に対してスケジュールスキャンやリアルタイムプロテクションを実施します。

Inoculate/IT™ Internet Protector Option Inoculate/ITのInternet Protector Optionはインターネットのゲートウェイにおけるウイルス対策を実現し、ウイルスや悪意のあるJavaアプレットやActiveXコントロールがSMTP、FTP、HTTPなどの一般的なプロトコルを通じてネットワークに侵入するのを防ぎます。

ウイルスプロテクションを強化する Inoculate/ITのオプション製品群

Inoculate/IT™ Microsoft Exchange Option / Inoculate/IT™ Lotus Notes Option これらの強力なオプションは、電子メールや一般的なグループウェアシステム上のデータベースを介して運ばれるウイルスに対する完全な対策を実現します。すべての電子メールの添付ファイルについてリアルタイムに検出 / 駆除を行います。管理者は、インクリメンタルにウイルスプロテクションを講じることができ、これらのオプションをネットワーク中の任意のInoculate/ITサーバから一元管理できます。

システム要件

Inoculate/IT 4.53 Workgroup Edition for Windows NT - Japanese

Inoculate/IT 4.53 Advanced Edition for Windows NT - Japanese

ハードウェア :Intel Pentium 以上のCPUを搭載したIBM PC/AT互換機
(Microsoft社 Windows Hardware Quality LabのHardware
Compatibility Listに記載されているハードウェア)

O S :Windows NT Server 3.51(Service Pack 5)
Windows NT Server 4.0(Service Pack 5)

メモリ :32MB以上

ディスク容量:16MB以上

必要メモリ容量、ハードディスク容量は、システム環境によって異なる場合がございますのでご注意ください。

すべての製品名および会社名は各社の商標または登録商標です。
製品の仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承下さい。

**COMPUTER[®]
ASSOCIATES**
Software superior by design.

お問い合わせ先

コンピュータ・アソシエイツ株式会社

〒163-0439 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
お問い合わせ窓口：CAジャパン・ダイレクト(TEL:0120-702-600)
WEBサイト：www.caj.co.jp

※記載事項は変更になる場合があります。

2000年5月現在
P0058L10IWE-J

Printed in JAPAN